

二十八歳の生涯

二十八歳の生涯

夫
三好武藏守長房
(一路津樹)

と
(瑞竜院日香)

も
(秀吉の養子
大和中納言
秀長(秀長の養嗣子)
鶴松
(生母 淀殿茶々)
保

秀
(秀吉の養子)
丹波少將
勝

秀
(秀吉の養子)
次

左大臣 關白

大政所
(なか)

太政大臣 太閤
(正室北政所ねこ)
吉
(生母 淀殿茶々)
頼

旭
姫
(徳川家康妻)

秀
大和太納言
長
娘
二人

永祿十一年 (一五六八)	尾張国 大鷹村出生。 幼名、治兵衛。
十歳	宮部善祥坊繼潤の養子になる。
十二歳	三好康長の養子に転じ、三好孫七郎信吉と改める。
十四歳	羽柴秀吉の養子になり、羽柴孫七郎秀次と改名。
天正十年 (一五八二)	秀吉に従い旧安土城下に入る。 六月。織田信長が家臣の明智光秀に殺される(本能寺の変)。羽柴秀吉が明智を滅ぼす。 安土城焼失。秀吉が織田家政の主導権を握る。
十五歳	
天正十一年 (一五八三)	正月。伊勢の滝川一政と戦う。 四月。近江賤川岳合戦で第六編隊の大將。柴田勝家と戦う。
十六歳	五月。旧安土城下に入り、後近江坂本城へ移る。 八月。河内国北山二万石に封じられる。
天正十二年 (一五八五)	三月。紀州根来寺改め、雜賀一揆軍攻めに戦功。 五月。四国の長曾我部元親攻めに副将として出陣。
十八歳	七月。羽柴秀吉が関白宣下される。近江蒲生・神崎・野洲三郡と大和国一部で計四十三石に封じられて、近江八幡入部。
天正十四年 (一五八六) 十九歳	四月頃、池田恒興の娘と結婚。町提書発布。 十二月。羽柴秀吉が「豊臣」姓を賜う。
天正十五年 (一五八七)	三月。近江の諸將を率いて九州島津義久討伐に出陣。 七月。聚楽第完成。
二十歳	八月。凱旋。この頃、城・山下町大略完成。
天正十六年 (一五八八) 二十一歳	四月。御陽成天皇の聚楽第行幸に供奉。 五月。秀吉に初見「鶴松」誕生。
天正十七年 (一五八九) 二十二歳	十一月。相州小田原城・北条氏直討伐に出陣命令を受ける。
天正十八年 (一五九〇)	二月中旬。近江諸將を直率して出陣。 三月、箱根(山中城)を陥して緒戦に戦功。 七月。尾張一國並伊勢五郡百万石・尾張清洲城主に転封。同時に奥羽平定総大拜命し、直ちに奥州路へ向かう。
二十三歳	十月。大崎・葛西一揆。会津で越年。
天正十九年 (一五九一)	正月。任 正三位大納言。 三月。九戸乱鎮圧総指揮。 八月。鶴松病死(三歳)。 九月。乱平定後十月、山形で駒姫を見る。 十一月末、近江八幡旧領民と袂別し、京都凱旋。 十二月。秀吉隠居して「太閤」となる。
二十四歳	同月。任 從二位・内大臣。秀吉の嗣子となり《豊臣秀次》と改む。 同日二十七日、左大臣に転じ、「関白」宣下。
文禄元年 (一五九二) 二十五歳	四月。朝鮮出兵。 十月。父看病のため尾張犬山城越年。
文禄二年 (一五九三) 二十六歳	二月。帰京。 八月。淀殿が「お拾」後の豊臣秀頼を生む。秀吉側近の奸臣等が秀次失格を図って暗躍開始。 九月。一時、秀吉との仲が険悪化。
文禄三年 (一五九四) 二十七歳	三月。吉野の花見。
文禄四年 (一五九五)	七月。謀叛の噂流れる。 同月八日。豊臣家追放・領地公収・聚楽第召上・関白剥奪。 十三日。高野山へ出立。 十五日。切腹、殉死五名。 八月二日。愛児・側妾等が三条河原で斬首される。 秀次の実父・三好一路が讃岐国に流罪され、実母とも(日秀尼)は上洛して子供達をとむらうために嵯峨に住む。
二十八歳	